

# 公益社団法人立川市シルバー人材センター 令和4年度事業報告

## I 令和4年度の運営概況

### 令和4年度の運営方針

#### **「経営5ヶ年計画の着実な達成に向けた施策の取り組みの推進」**

令和4年度は、「経営5ヶ年計画」のスタートの年であり、数値目標に基づき年度末会員数目標を1,500名、就業率目標を80%に設定し、事業計画に掲げた取り組み項目について、理事会、経営会議、総務部会・事業部会及び広報部会において協議を進め、特に数値目標など重要課題への具体的な施策を検討し、計画実施に向けた本格的な取り組みを開始いたしました。

ここ数年続いた新型コロナウイルス感染症の影響は、オミクロン株による感染拡大により、一時的に会員の感染も増加し、また入会説明会等を中止するなどの影響はありましたが、会員の就業など事業の実施については、民間受注で一部影響があったものの「コロナ前」の状況に戻ってきており、3年ぶりに開催された「たちかわ楽市」での役員による広報活動なども予定どおり実施したところであります。

その他普及啓発・広報活動では、新たにJR立川駅前ペDESTリアンデッキ上への横断幕の掲示、市広報「たちかわ」へのシルバー人材センター特集記事の掲載など立川市のご協力により、さまざまな広報媒体を活用した取り組みが実現しました。また、「憩いのサロン」や「就業体験講習」などを通じた事業紹介を行うとともに、引き続き普及啓発活動月間や会員増強強化月間での入会案内パンフレットの市内全域配布などの活動を実施しました。

会員への就業提供においては、特に新入会員への就業提供の迅速化や入会説明会での欠員情報の提供など、就業希望の新入会員や入会希望者への対応に積極的に取り組みました。また、会員の平均年齢や高齢会員の就業率の上昇に基づいたワークシェアリング(仕事の分かち合い)の検討など登録会員のニーズや状況に応じた就業体制づくりに備えた取り組みも進めております。

また、地域貢献活動など会員の活動においては、長年にわたり有志会員により実施してきました「ファーマーズクラブ活動」(農作業支援活動)が諸般の事情により令和4年末で終了することになりましたが、「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を継続実施するとともに、新たに女性会員の交流の場である「Caféモネ」(リニューアル後は「談話室モネ」)の活動を、女性理事・会員によりスタートさせました。今後も、就業以外でも「地域共生・交流」の場を提供することに取り組んでまいります。

安全就業においては、事業実績が回復するなか、傷害及び賠償責任事故等の発生件数が、前年度の大幅減から再び増加し、11件の事故が発生しました。引き続き安全啓発、事故0を目指した事故防止の取り組みが課題となっております。

令和4年度の事業実績等は、

請負契約高	9億99万余円	前年度比	5.9%	5,060万余円増
派遣契約高	1,103万余円	前年度比	58.2%	406万余円増
請負就業実人員	1,132人	前年度比	24人減	
派遣就業実人員	13人	前年度比	3人増	
全体就業率	79.5%	前年度比	1.0ポイント減	
会員数	1,439人	前年度比	10名減	
傷害及び賠償責任事故	11件	前年度比	5件増	

となり、契約金額は、契約終了による民間受注が減となった職群もありましたが、葬祭事業での葬祭関連商品売上の回復などもあり、前年度に続いての増額となりました。しかしながら、会員数は、経営5ヶ年計画の今年度目標1,500名を掲げましたが、年度末会員数は1,439名となり平成28年度以来7年連続での減少となりました。

最後に、令和4年度末において、砂川学習館の建て替えによる休館、商業施設の駐輪場管理などの契約終了により受注減が確定しております。令和5年度は、受注回復への対応、また「経営5ヶ年計画」における重要課題への具体的な取り組みの実施、インボイス制度導入など喫緊の課題への対応などについて、引き続き会員の皆様のご協力とセンターの事業・活動への積極的な参画をお願いする次第です。

以下、活動計画の項目別にその活動概要を報告いたします。

## II 事業活動報告

### 1 会員増強

#### (1) 入会案内パンフレット等の市内全域配布の継続

普及啓発活動月間や会員増強強化月間・会員増強キャンペーンに合わせ、入会案内パンフレットの市内全域配布3回(5月、9月、1月)と入会案内・会員募集リーフレットの新聞折り込みを2回(5月、2月)実施しました。

#### (2) WEB上での入会案内の実施と入会申込の受付実施

ホームページを活用した入会申し込み受付「WEB入会申し込み」の導入に向けて、ホームページ掲載用の「入会案内」を作成や、申込受付ページの作成に取り組みました。

#### (3) 女性の入会強化策の実施

女性会員アンケートを実施し、会員からの意見・提案を参考に施策の検討を行い、「入会促進プロジェクト」(仮称)の設置を決定しました。また、新たに管理業務職場への女性会員の就業を実現するなど、女性会員への積極的な就業提供に取り組みました。

#### (4) 会員の口コミの活用

会員増強強化月間に合わせ、会員へのお口コミ協力を地域班や会報「シルバー

だより」への記事掲載を通じて実施しました。

### (5) 入会説明会の開催

入会説明会について、会場を本部事務所及び女性総合センター・アイム、砂川学習館とし、また普及啓発活動月間・会員増強強化月間に合わせて他地区でも開催し、会員増強の一助としました。

入会説明会	毎月開催	本部事務所	13回	出席者	80名
		女性総合センター・アイム	16回	出席者	154名
		砂川学習館	11回	出席者	97名
	その他開催	学習館等	2回	出席者	10名

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、入会説明会を1回休止したほか、定員の半減などの対応を図りました。

### (6) 会員互助会との連携を通じた会員交流の強化

会員互助会設立30周年に合わせ、会員日帰り親睦旅行開催のため支援を行いました。

### (7) 高齢会員・未就業会員への相談窓口の充実

総合相談窓口を毎月開設するとともに、未就業会員アンケートを実施し、就業相談希望者対象の「臨時就業相談」を実施しました。

総合相談窓口利用者 5名 臨時就業相談利用者 10名

### (8) 会員・事務局の交流機会の充実

地域貢献活動「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」の参加高齢会員と役員・事務局の交流を兼ね、「地域貢献活動参加者慰労会」を市内各地区で開催しました。 4回開催 出席会員 55名

## 2 普及啓発

### (1) 「憩いのサロン」の活用を通じたセンター事業・活動の周知

高齢者の交流と居場所づくり、センター事業の紹介などを目的に、「憩いのサロン」の定期的な開催を企画し、実施しました。

5/18	植物観察	12/14	篆刻
6/13	篆刻	2/10	ブリザーブド・フラワー
7/20	陶芸	2/20	写経(会員限定開催)
10/19	植物観察	3/10	メイクアップ教室
11/25	落語(会員互助会共催)		

### (2) ホームページの充実

よりわかりやすい・見やすい内容へのリニューアル、最新の情報の提供を随時行うとともに、「シルバーたちかわ通信」や「働く方募集情報」などを通じて、センターの活動や入会説明会の開催状況、就業情報の発信頻度を高めるなど、情報発信の充実に努めました。

### (3) ソーシャル・メディアを活用した情報提供

会員へのSMS(ショートメッセージサービス)を活用し、就業情報や安全就業啓発、研修や講習などの情報発信を行うとともに、会員向けの新たな情報発信ツールとして「Smile to Smile」の導入に向けた準備を行いました。

### (4) 行政・関係機関・他センターとの連携等による効果的な広告媒体の活用、各種イベントへの参加を通じた宣伝活動の実施

- ① 立川市のご協力により、JR立川駅前のペDESTリアンデッキ上に事業紹介の横断幕を掲示しました。(10月3日～11月4日、1月13日～3月1日)
- ② 立川市のご協力により、広報「たちかわ」3月10日号にシルバー人材センター事業の特集記事を掲載しました。
- ③ 市広報「たちかわ」に入会説明会日程の記事を掲載しました。(8回)
- ④ 国立市・国分寺市両シルバー人材センターと共同で立川バス車両側面広告掲出を継続しました。
- ⑤ 新たな事業実施を目的に、東京都シルバー人材センター連合(公益財団法人東京しごと財団)との共催により未入会者対象の就業体験講習「空き家の管理」を開催しました。2月22日 参加者12名
- ⑥ 市民便利帳(令和4年11月発行)及び市民マップ(令和5年3月発行)にセンター事業及び葬祭事業の広告を掲載しました。
- ⑦ 市営葬儀説明会を毎月1回斎場で開催したほか、学習館等を利用し市営葬儀の基礎知識の個別説明会を開催しました。

市営葬儀説明会(市斎場開催)	12回	出席者	61名
市営葬儀の基礎知識の個別説明会	25回	出席者	73名
- ⑧ 「高齢者の集い」や「たちかわ楽市」において、REE工房及びファーマーズクラブの出店とともに、役員による事業紹介リーフレットや入会案内パンフレットの配布を実施しました。
- ⑨ 10月25日に開催された東京都主催「シニアしごとEXPO」にREE工房手作り品販売で出展し、入会案内パンフレット等を配布しました。

### (5) 普及啓発活動月間の実施

9月から11月を普及啓発活動月間とし、入会案内パンフレットの市内全域配布、入会説明会の開催回数増、ペDESTリアンデッキ上の横断幕の掲示、「高齢者の集い」及び「たちかわ楽市」での事業紹介リーフレットや入会案内パンフレットの配布、公共施設への入会案内リーフレットの配置などセンター事業の紹介と入会案内に努めました。

## 3 就業 (就業開拓・開発と就業率の向上)

### (1) 会員のニーズ、年齢等の状況に合わせた就業機会の開拓・提供

派遣契約での事務・受付、請負契約での清掃などを新規に受託しました。

(2) 派遣事業の拡大

新たに事務・受付の職種を開拓しました。その結果、契約額は前年度比約 58% 増の約 1,103 万円となりました。

(3) 新規事業や欠員補充に対応できる組織づくりの検討

役職員の検討チームを設置し、現在受注している職種や欠員補充が困難な職種への対応のための組織づくりを検討しました。

(4) 総合相談窓口や未就業会員現況調査等による就業希望等の的確な把握

総合相談窓口や未就業会員アンケート、電話連絡等で、未就業会員及び新入会員の就業希望を的確に把握し、欠員補充等の参考としました。

(5) 会員の経験やスキルの把握による就業提供並びに就業開拓・開発のための人材データの充実

入会時に職務経験や資格・免許を的確に把握することにより、公益財団法人東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)による人材データの集約(人材情報データベース)に参加し、就業開拓・開発の一助としました。

(6) ワークシェアリングなど就業形態の見直しの検討

新入会員への迅速な就業提供や未就業会員への就業紹介、また高齢会員の就業継続の維持の一助とするため、事業部会でワークシェアリング(仕事の分かち合い)のあり方などを検討しました。

(7) 平均年齢の上昇、会員数や年齢分布の状況に基づく就業期限・就業適性評価・就業年齢の検討

平成 30 年度に実施した就業基準の見直しや就業年齢ガイドラインの廃止以降の就業状況等を検証し、今後の就業提供やワークシェアリングなど就業形態の見直しの参考資料としました。

(8) 就業開拓・開発、適正就業の確保のための調査研究・情報収集

経営 5 ヶ年計画の重要課題への取り組みの参考資料とすべく実施した「女性会員アンケート」などを通じて、就業職種等へのニーズを把握しました。また、東京労働局需給調整事業部による請負事業の受託に関する訪問調査があり、請負契約書類の内容確認と会員の就業職場の現地調査が行われ、特に指摘事項はありませんでした。

(9) 全就業会員を対象とした研修と各種会員研修の実施

昨年度に開催した「全就業会員研修会」未受講者及び新規就業会員を対象とした「就業会員研修会」を計 6 回開催しました。また、家事援助サービスなど会員の就業に対する知識・技能の習得及び向上を目的とした職群班単位での研修を実施しました。

**4 安全就業(安全就業推進活動実施計画及び安全就業基準の遵守に基づく就業中並びに就業途上の安全確保)**

(1) 安全対策基本計画に基づく安全管理推進委員会の体制・活動内容、安全就業強調月間など施策の一層の充実

安全管理推進委員会の開催を通じた役員・会員の安全意識の向上に努めるとともに、年度安全就業推進活動実施計画に基づく活動、研修・講習の実施に取り組みました。

また、7月及び12月を「安全就業強調月間」に設定し、会報「シルバーだより」への記事掲載、職群班・地域班を通じて月間事故0を目指した呼びかけを行うとともに、会員の安全意識の啓発と職場環境の確認を目的に、安全就業強調月間中に委員による職場巡回を実施しました。巡回時には、委員が安全チェック表に基づく職場の安全環境の確認を行うとともに、各職場から聞き取った安全対策や職場環境に関する意見・要望を安全管理推進委員会及び理事会で報告し、改善等に取り組みました。

## (2) 事故ゼロを目指した取り組みの充実

7月及び12月の「安全就業強調月間」を中心に、啓発リーフレットの配付や職群班所属の安全管理推進委員会委員の注意喚起等を通じて、事故ゼロを目指した取り組みを推進しました。

## (3) 事故現場の確認や事故原因の調査・分析など事故事例の活用、職群班・職場ごとの危険予知を通じた事故防止対策の立案及び実施

事故発生原因に関する会員からの聞き取り調査や安全管理推進委員会での分析を通じ、交通安全講習会での事故事例の報告を行うとともに、安全担当理事や事務局安全就業推進員が職群班会議に出席し、会員の安全就業、道具・機材の安全使用について啓発を行いました。

## (4) 交通安全や転倒防止など事故防止啓発、AED操作など危機対応のための研修会・講習会の定期的な開催

### ① AED操作講習会の開催

警備会社に委託し、管理業務就業会員を対象にAEDの操作方法を確認する講習会を開催しました。 7月15日 参加人数 15名

### ② 交通安全講習会の開催

交通安全に対する意識を高めるため、立川警察署交通課交通総務係係官等を招き、「自転車の安全走行」に関する講義を行いました。また、安全管理推進委員会委員長より過去5カ年の事故発生状況をふまえた注意喚起が行われました。 10月19日 参加人数 97名

### ③ 飛び石事故防止講習

除草作業の機具使用における飛び石事故の防止のため、飛び石事故防止講習に除草作業会員が参加しました。 12・1月 参加人数 4名

## (5) 安全就業・事故防止のため、定期的な健康診断の受診奨励など会員の健康管理、転倒予防講習等を通じた体力維持などへの取り組みの充実

会員自身による健康管理の奨励のため診査受診を呼びかけるとともに、就業期限更新時に健康チェック表を同封し、健康面での自己管理を呼びかけました。

## (6) 安全啓発グッズの配布（熱中症予防、感染症予防など）

就業会員や「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加協力会員に対し、夏季には熱中症予防のネッククーラーを、冬季には感染症予防のマスクと防寒・転倒防止グッズを、職群班や地域班を通じ配付しました。

## (7) 安全標語の募集

安全意識の高揚を目的に令和5年度の安全標語の募集を行いました。募集の結果、会員38名から173点の応募があり、安全管理推進委員会で選考の結果、最優秀作品1点、優秀作品2点、佳作3点を決定し、公益財団法人東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）の安全標語選考に応募しました。

最優秀作品「健康は 日々のケアの つみかさね」

## (8) 会員の自転車利用に関する啓発活動

入会時や職場巡回時に自転車損害賠償保険（個人賠償責任保険）への加入及び内容確認を呼びかけるとともに、令和5年4月以降の自転車利用時のヘルメット着用の努力義務化への対応を検討しました。

## 5 研修・講習

会員としての意識啓発と地域貢献活動への参加促進を目的とした新入会員研修会の開催、就業に対する責任感や接遇などの意識啓発を目的とした「全就業会員研修会」を開催するとともに、会員の安全就業や技能向上を目的とした研修・講習会への参加、多様な職務に対応する職員の育成・能力向上のため、公益財団法人東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）主催の各種研修の参加を促進しました。

また、新たな事業の開発のため、役職員が公益社団法人府中市シルバー人材センターを視察訪問しました。

## 6 会員の活動（地域貢献活動への協力拡大と会員の交流機会の拡大検討）

### (1) 「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」への会員の協力拡大

新入会員研修会終了後の班長面談、就業確認書交付時の参加啓発リーフレットの配付、未参加会員対象の活動体験日の設定と周知、会報「シルバーだより」への「見守り活動紹介」の掲載などを通じて協力拡大を目指すとともに、参加会員への慰労や防暑・防寒・感染症予防グッズの配付等にも取り組みました。

### (2) 「地域共生」や「居場所づくり」、会員交流に寄与する活動の検討・実施

女性会員の交流を目的とした「Café モネ」（リニューアル後「談話室モネ」）事業を女性理事・会員の協力のもと実現するとともに、会員向け「憩いのサロン」の開催、会員互助会設立30周年記念事業（会員作品展、会員日帰り親睦旅行）の支援に取り組みました。

また、会員の地域貢献・地域共生の活動として実施していたファーマーズクラブ（農業支援活動）は、今年度をもって活動を終了することとなりました。

## 7 運営基盤の強化

### (1) 役員と職群班長・地域班長の連携の強化

役員が、職群班・地域班の会議等に参加し、センター事業の状況等の情報提供を行いました。

また、2月に開催した地域班班長会議では、班活動に関するグループ意見交換を行うなど連携の強化に取り組みました。

### (2) 事務の効率化の検討

会員への情報提供、入会手続などへのデジタル活用を目指し、さまざまなデジタルツールを検討しました。

### (3) インボイス制度への的確な対応など請負総額契約のあり方の検討

令和5年10月に実施される適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入に対応するため、公益財団法人東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)等からの情報提供を参考に令和5年度の請負総額契約のあり方を検討するとともに、最大の発注者である立川市への支援要請を行い、了承を得ました。

### (4) 立川市からの財政支援の充実

葬儀の小規模化に伴う指定管理者事業(葬祭事業)の収支の安定や本部及び羽衣ワークセンターの空調機器更新に対する支援を確保しました。

## III 組織活動

### 1 理事会

経営会議、総務部会・事業部会・広報部会をはじめ、安全管理推進委員会や就業決定会議等の活動を推進するとともに、理事会・事務局の緊密な連携のもと、年度事業計画に基づく活動を実施し、課題の解決等に努めました。

#### (1) 経営会議

経営5ヶ年計画の重要課題への取り組みについて、総務・事業・広報の各部長の出席を求め、具体的な施策を検討するとともに、事業の進捗状況の確認や施策の検討、次年度事業計画・収支予算の編成などを行いました。

また、定款の定めに基づき年2回、代表理事・業務執行理事により理事会に対し職務執行に関する報告を行いました。

#### (2) 総務部会

「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」を主とする地域貢献活動の円滑な実施と参加協力会員の拡大に向けた取り組みの検討を進めるとともに、入会説明会・新入会員研修会の内容充実、「WEB入会申し込み」や「Smile to

Smile」の導入に向けた準備を進めました。

### (3) 事業部会

就業開拓・開発・提供担当職員と緊密に連携し、就業開拓、未就業会員の現況把握・相談対応、ワークシェアリングの検討、職群班の自主的就业体制の充実、適正就業の確保、就業会員研修会の開催などに取り組みました。

### (4) 広報部会

センターの普及啓発と会員増強のための施策を検討し、市広報への特集記事の掲載、普及啓発活動月間・会員増強強化月間の設定や入会案内パンフレット等の市内全域配布・新聞折り込みの実施、市広報への定期的な入会説明会日程等の掲載、会報の発行、新たな広告媒体としてペDESTリアンデッキ上の横断幕の掲示、「WEB入会申し込み」や「Smile to Smile」の導入に向けた準備などに取り組みました。

### (5) 就業決定会議

会員の就業適性確認や職種・職場の異動など就業基準の円滑な運用と未就業会員の現況把握に基づく欠員職場の解消に取り組むとともに、就業基準の見直し後の会員の就業状況について検証しました。

### (6) 安全管理推進委員会

安全対策基本計画及び年度安全就業推進活動実施計画に基づき、安全就業・交通安全啓発、安全関係研修の実施、安全就業強調月間の設定と委員による職場訪問に取り組みました。

## 2 地域班活動

地域班班長会議の開催などを通じ、総務部会・事務局と緊密に連携して「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」などの地域に根ざした「地域貢献活動」の実施に取り組みました。一方で、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、地域会員の相互交流については休止状況が続きました。

## 3 職群班活動

お客様からの信用・信頼を維持するため、「共働・共助」の理念に基づく自主的就业管理体制の充実とともに、事業部会と緊密に連携し、適正就業の確保、研修の充実、安全就業の徹底に取り組みました。

## 4 会員の福利厚生活動

会員の健康管理・安全確保を目的に、安全管理推進委員会と連携して、熱中症予防・感染症予防のグッズやマスクなどを配布しました。また、令和3年度収益の一部を会員の自主的福利厚生・親睦交流団体である会員互助会への助成に充て、特に令和4年度に設立30周年を迎え、記念事業の実施を支援しました。

## 5 事務局

職員の定年退職に備えるため、正職員を新規採用するなど事務局職員体制を整備し、経営5ヶ年計画の重要課題に取り組む体制づくりに取り組むとともに、東京都第6ブロック・公益財団法人東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)主催の諸会議に職員が出席し、事業に関する知識等の習得に努めました。

## IV 参考資料：新型コロナウイルス感染症の事業への影響

### 1 会員への感染について

感染報告があった会員 50名

濃厚接触報告があった会員 16名

高齢等のため入院した会員もいましたが、ほとんどの会員が軽症または無症状で、自宅療養の上就業に復帰しました。

### 2 会員の就業への影響について

就業休止や時間短縮などの影響はありませんでした。

### 3 シルバー人材センターの事業・活動への影響について

オミクロン株による感染拡大により、以下の活動を休止しました。

入会説明会 (8月10日)

新入会員研修会 (8月3日)

### 4 感染予防対策

引き続き就業会員や「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加会員へ不織布マスクを配付するとともに、手指消毒液などを確保し、発注者から求められる職場など必要な職場に随時配付しました。

また、事務局での業務継続対策として、事務所への手指消毒液の設置、手洗い・換気の励行、カウンター等へのアクリル板の設置、赤外線検温器などの設置を継続しました。